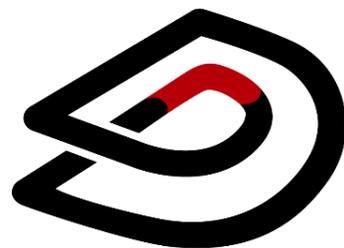


人を不幸にしないための、デジタルと



**デジタルプラス**

**2024年9月期 通期  
決算説明資料**

## 通期営業利益・最終利益の黒字化

フィンテックセグメントの大幅な成長により  
上方修正後の営業利益予想25百万円に対し、さらに約2.3倍の56百万円で着地

## GC注記の解消（完全削除）

流通総額から生まれる収益基盤構築と資金調達の実行により  
注記及び重要事象の記載共に解消

## 流通総額18四半期連続成長：前年同Q比1.7倍

当第4四半期の流通総額は21億円を突破  
年間流通総額が約90億円のベースに成長

## フィンテックセグメント利益率の大幅改善

フィンテックセグメント利益率は4Qが42%となり、通期2億円超に成長  
今後流通総額拡大によって更なる利益率向上に期待

## 重要事象への記載を含む全てのGC注記を解消し、完全削除を実現

以下の事象を含む当期に取り組んできた施策が奏功し、早期にGC注記完全削除へ至った

### 【業績の安定化】通期営業利益黒字化：56百万円

- ・ 流通総額が18四半期連続成長を達成
- ・ フィンテックセグメント通期利益212百万円、通期前年同期比約2.8倍
- ・ 資金移動業取得後は更なる収益改善の見込み
- ・ ファクタリング事業の寄与
- ・ 上記より、総合的な収益力が強化され安定化の方向

### 【資金調達】更なる第三者割当増資の実行により、手元流動性(現預金残高)が強化

- ・ 当四半期に当期2回目となる増資を実行し、約1.3億円の資金調達を実現
- ・ 足元の株価状況を踏まえ、更に0.5億円のCB償還（買い入れ消却）を進めCBの転換による希薄化を最大限回避
  - ✓ CBの残高：0.5億円
- ・ 2024年9月末の現預金残高は、801百万円に改善（参考：2023年9月末残高444百万円）

2度の上方修正を経て、**通期予想の営業利益25百万円に対し営業利益56百万円**で着地  
増資により外形標準課税が7百万円適用され、2度目の上方修正後営業利益63百万円を下回る

(単位：百万円)

# 売上

通期予想

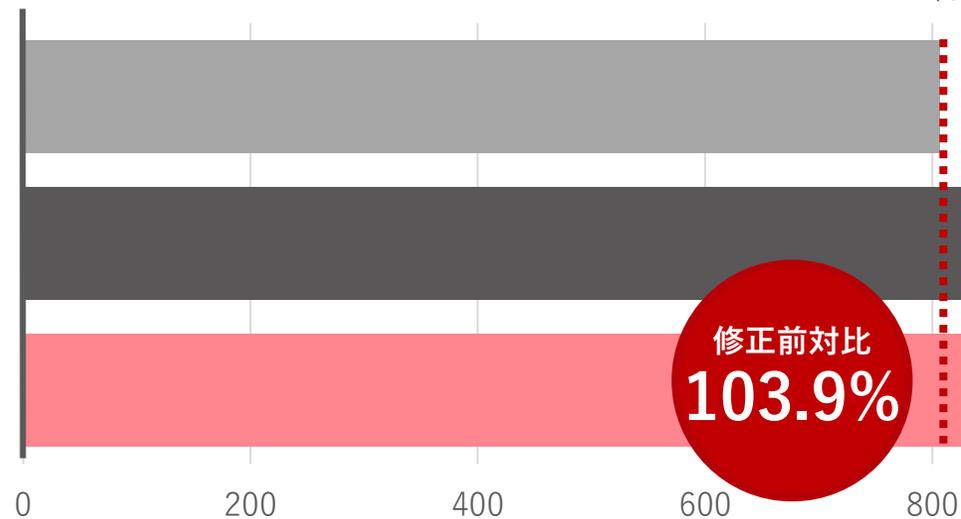
807百万円

上方修正後  
通期予想

838百万円

通期実績

**838百万円**



# 営業利益

通期予想

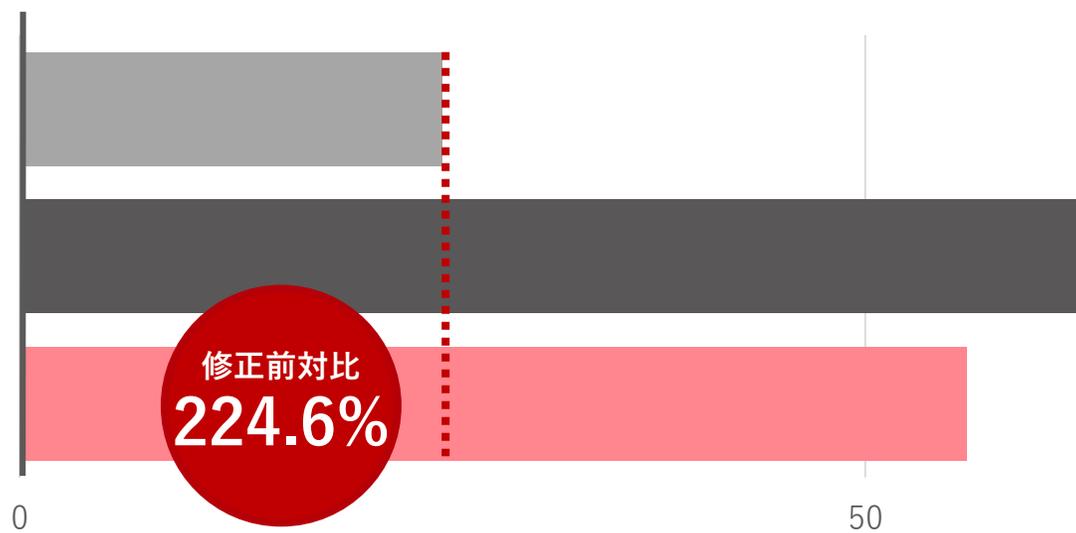
25百万円

上方修正後  
通期予想

63百万円

通期実績

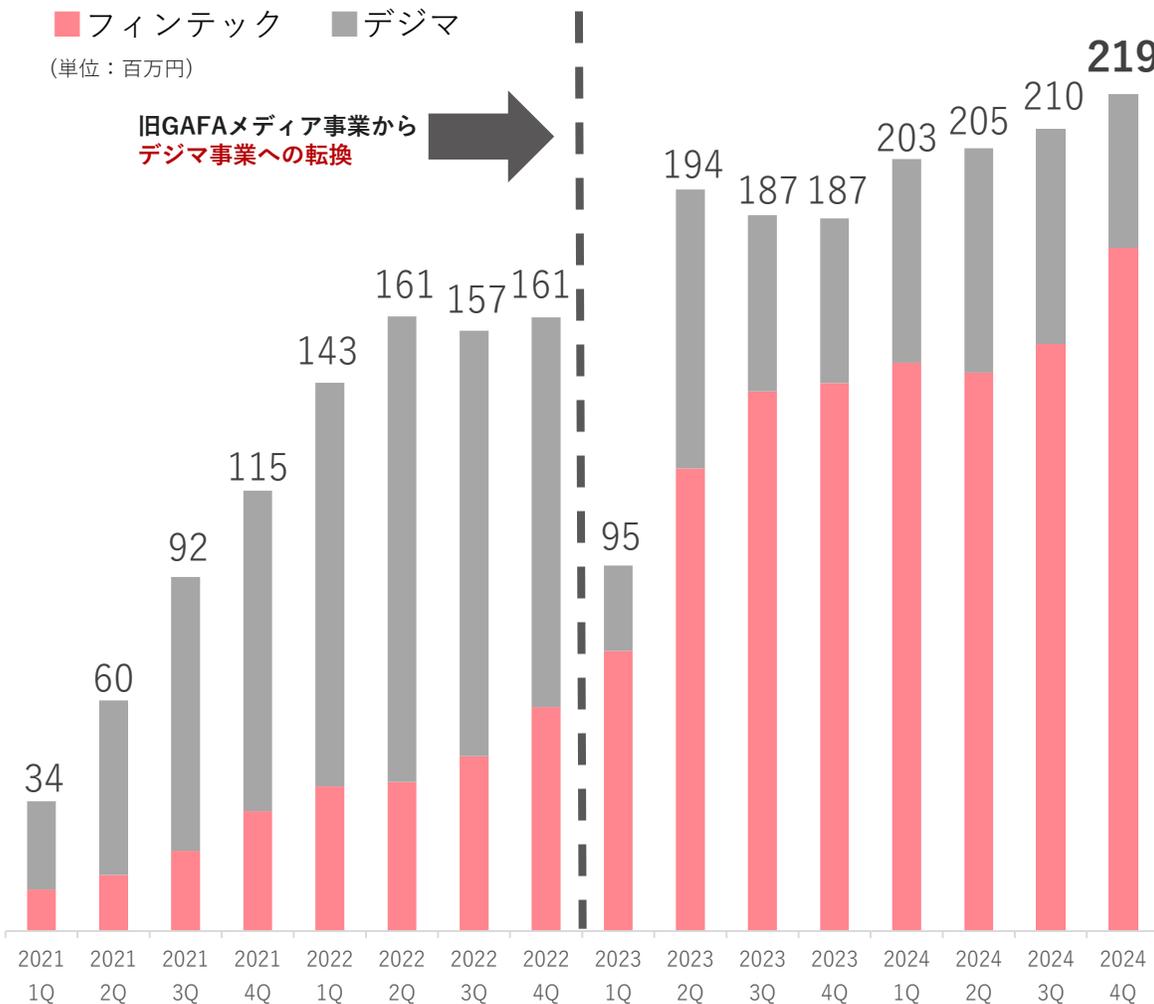
**56百万円**



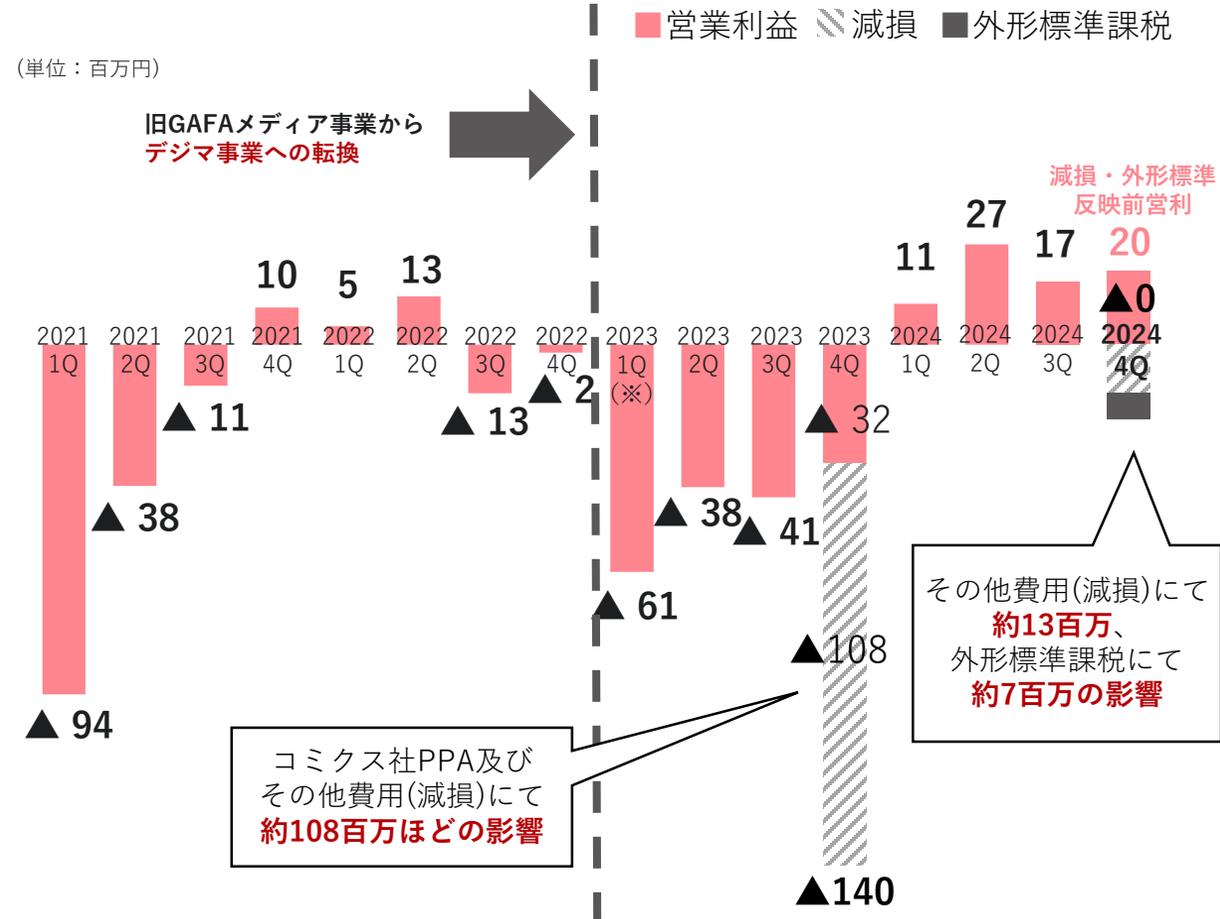
# 売上・営業利益 | 四半期毎の推移

第4四半期の売上高は、フィンテック事業の成長が寄与し、2021年9月期以降**過去最高売上を継続的に更新**。フィンテック事業の売上構成比率は80%を突破。また、減損が生じつつも**通期黒字化を実現**

## フィンテック・デジマの四半期売上推移



## 営業利益の四半期推移



(※) 2023 1QよりIFRS適用

# 連結損益計算書（P/L）：2024年9月期 通期決算概要（IFRS適用）



前年通期に対し販管費を大幅に削減しつつも、高い粗利成長を継続した結果、当期は着実に利益を創出。流通総額の成長により、**通期営業利益黒字のベースを確立**

単位：百万円	2024年9月期 通期 (2023年10月～2024年9月)	2023年9月期 通期 (2022年10月～2023年9月)	前期比
売上収益	838	665	126%
売上総利益	714	566	126%
売上総利益率	85%	85%	0pt
販売費及び一般管理費	716	806	89%
その他収益及び費用	58	▲42	—
営業利益	56	▲282	—
当期利益	82	▲243	—
親会社の所有者に帰属する当期利益	21	▲277	—

## 当社考察

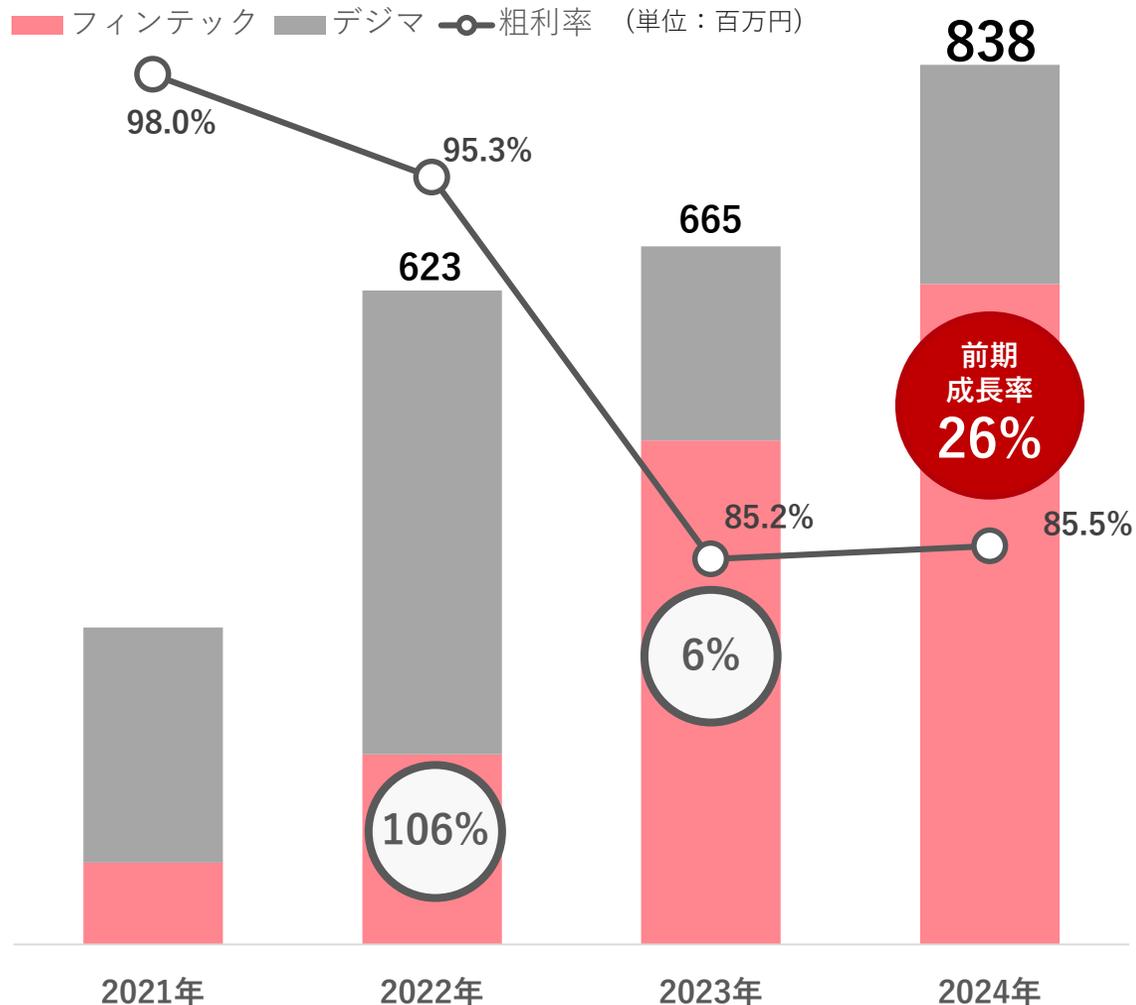
- 1 流通総額の継続的な成長により、ストック収益として安定した収益の更なる積み増しが見込めている状況。ファクタリング事業の貢献もあり、**売上・粗利ともに高粗利率での成長を実現。**
- 2 PPAの処理に伴う減価償却費、外部委託に係る支払手数料等の減少により、販管費が大幅に減少
- 3 **営業利益及び当期利益共に通期黒字を達成**

# 売上・営業利益 | PIVOT後の通期推移

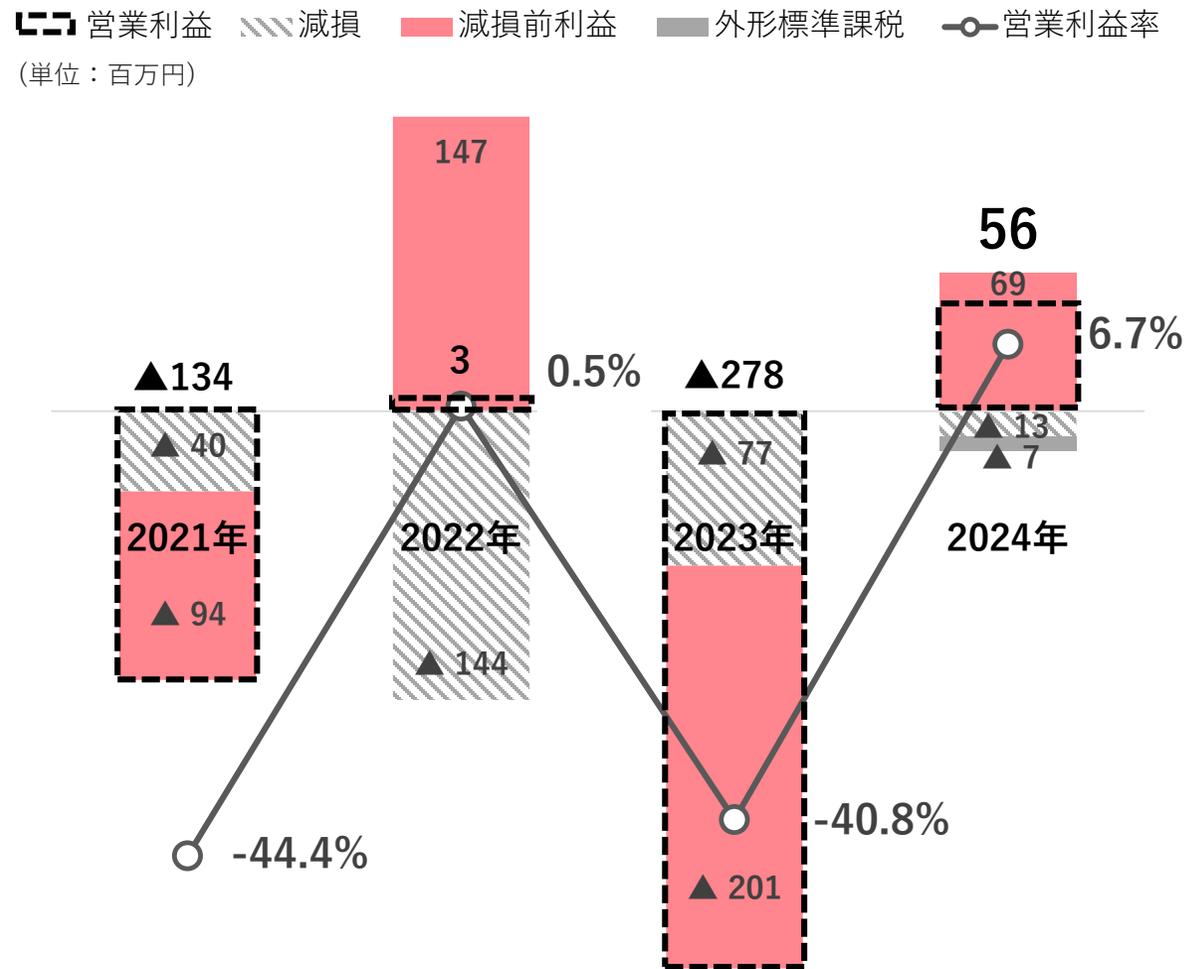
大きな事業PIVOT後、**過去最高売上・最高営業利益を達成。**

フィンテック事業が、2021年対比800%の成長により、減損を含めても**通期営業利益黒字**のベースを確立

## 通期売上・粗利率推移



## 通期営業利益推移



# 連結貸借表 (B/S) (IFRS適用)

通期当期利益が黒字で着地したこと及び第三者割当増資の払込完了により資本が大幅に改善  
また、上記に加え借入の実施により、現預金の水準も著しく改善

単位：百万円	2024年9月期 第4四半期末 (2024年9月30日時点)	2024年9月期 第3四半期末 (2024年6月30日時点)	前四半期	2023年9月期末 (2023年9月30日時点)	前期末比
流動資産	<b>1,597</b>	1,269	126%	1,014	157%
現金及び 現金同等物	<b>801</b>	528	152%	444	180%
非流動資産	<b>738</b>	662	111%	673	110%
資産合計	<b>2,335</b>	1,931	121%	1,688	138%
流動負債	<b>1,396</b>	1,107	126%	983	142%
非流動負債	<b>122</b>	157	78%	179	68%
資本	<b>817</b>	666	123%	525	156%
負債及び 資本合計	<b>2,335</b>	1,931	121%	1,688	138%

## 当社考察

① 第三者割当増資の実行及び借入の増額により、現預金の水準が著しく改善。今後も更なる流通総額の拡大に向けて、Debtによる資金調達を行っていく方針

② 第三者割当増資の実行及び通期当期利益の黒字化により資本が改善

# フィンテック流通総額の四半期推移

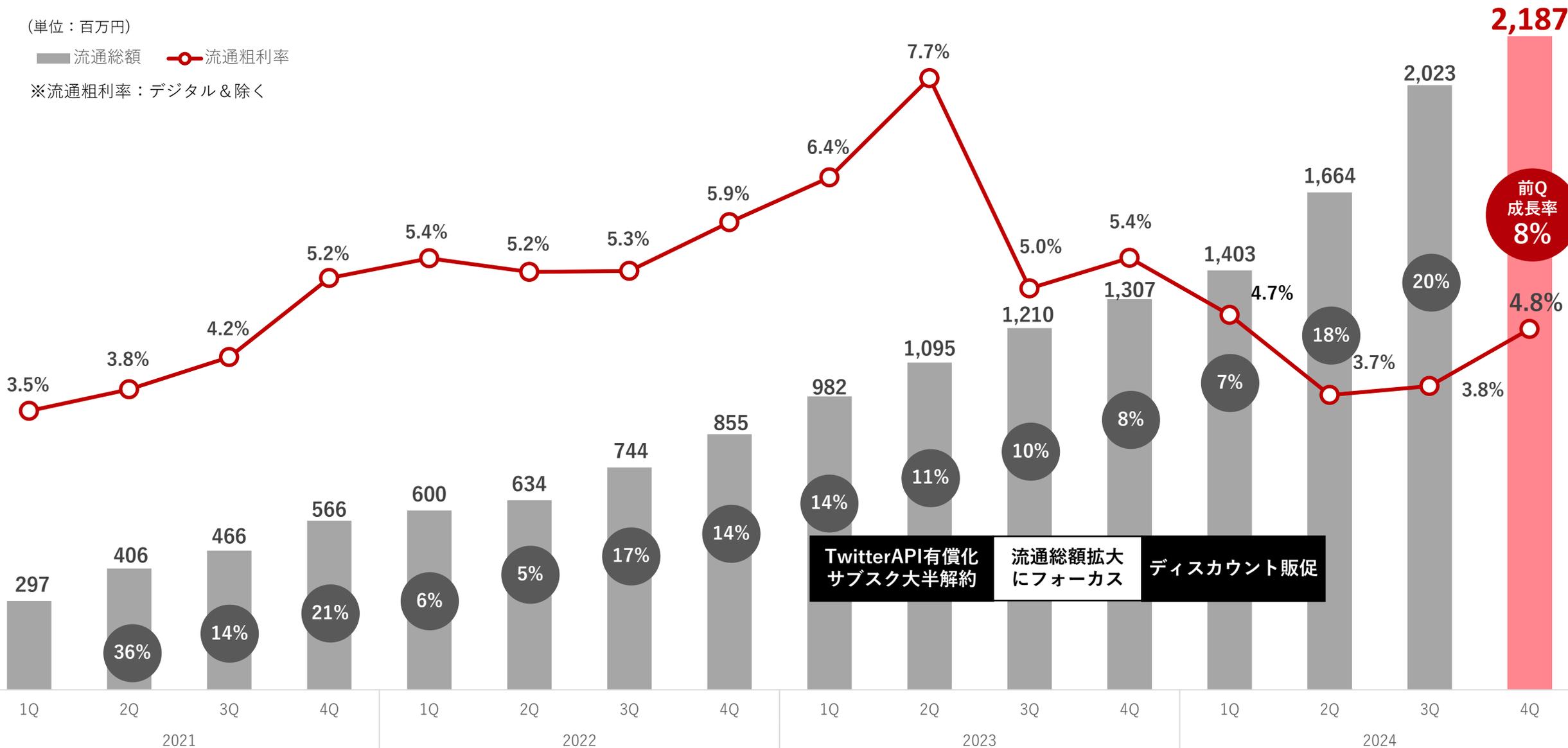
2024年4Qフィンテック流通総額は**18四半期連続成長**、年間約90億円ベースへ

サブスク収益減少やディスカウント販促の影響後、**流通粗利率は4.8%**となり回復・上昇傾向

(単位：百万円)

■ 流通総額    ● 流通粗利率

※流通粗利率：デジタル&除く



## 2024年9月期 業績状況(前年比)



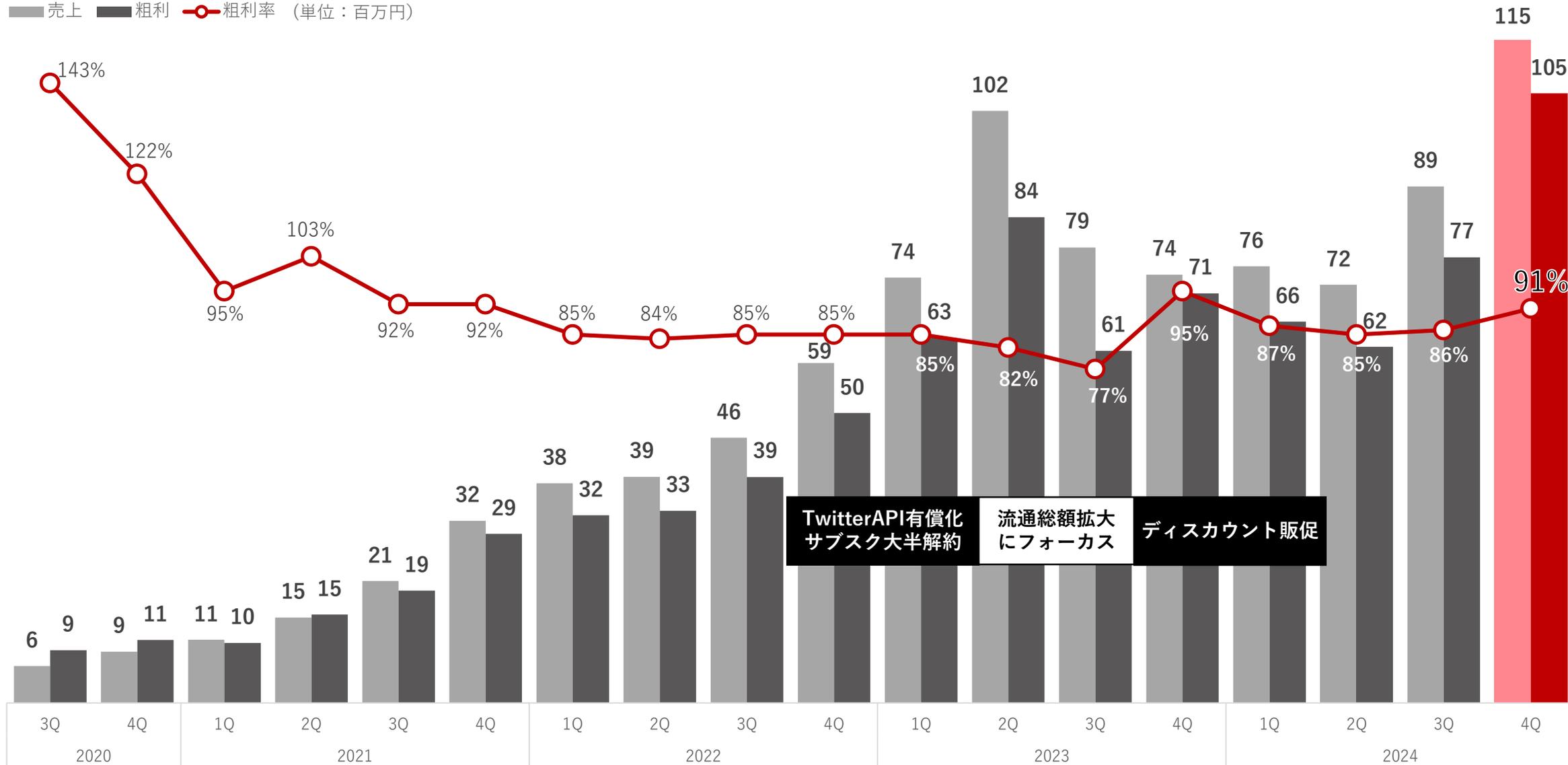
前年比では**流通総額158%、セグメント利益286%成長、セグメント利益率は19pt向上**  
**フィンテック単体で通期2億円超に。**今後流通総額拡大によって更なる利益率向上に期待

単位：百万円

	2024年9月期通期	2023年9月期通期	前期比
流通総額	7,279	4,595	158%
売上	629	480	131%
粗利	513	385	133%
粗利率	82%	80%	2pt
販管費	301	311	97%
セグメント利益	212	74	286%
セグメント利益率	34%	15%	19pt

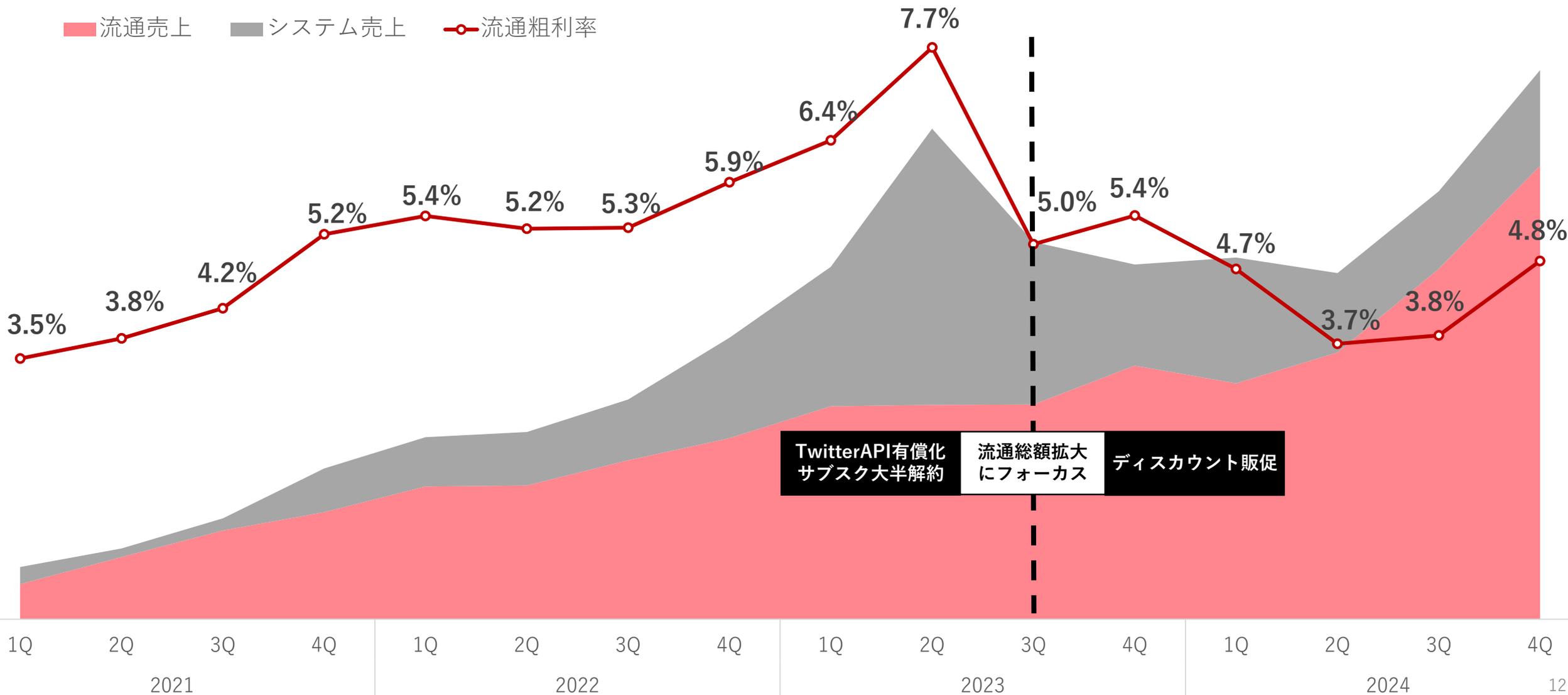
流通粗利率の改善に伴い**粗利率91%**、フィンテック単体で**過去最高粗利1億円を突破**

■売上 ■粗利 ●粗利率 (単位:百万円)



TwitterAPI有償化サブスク大半解約  
 流通総額拡大にフォーカス  
 ディスカウント販促

2023年2Q Twitter API有償化に伴い、足元の利益ベースであったフィンテック事業のサブスクが大半解約  
**2023年4Qより流通総額拡大にフォーカスし、着実に流通売上を積み上げ、過去最高粗利 1 億円を突破**



主要クライアントの季節要因もありセグメント利益は前Q比20%での着地

単位：百万円	当Q実績	前Q実績	前年同Q実績	前Q比	前年同Q比
売上高	39	55	43	71%	91%
粗利	32	57	42	56%	76%
粗利率	82%	104%	98%	▲22pt	▲16pt
販管費	16	23	61	70%	26%
その他収益及び費用(※)	▲6	16	▲27	-38%	22%
セグメント利益	10	50	▲46	20%	-22%
セグメント利益率	26%	91%	-	▲65pt	-

※:IFRS上、売上高の一部をその他収益として振替計上

## 2025年9月期 業績予想（IFRS適用）

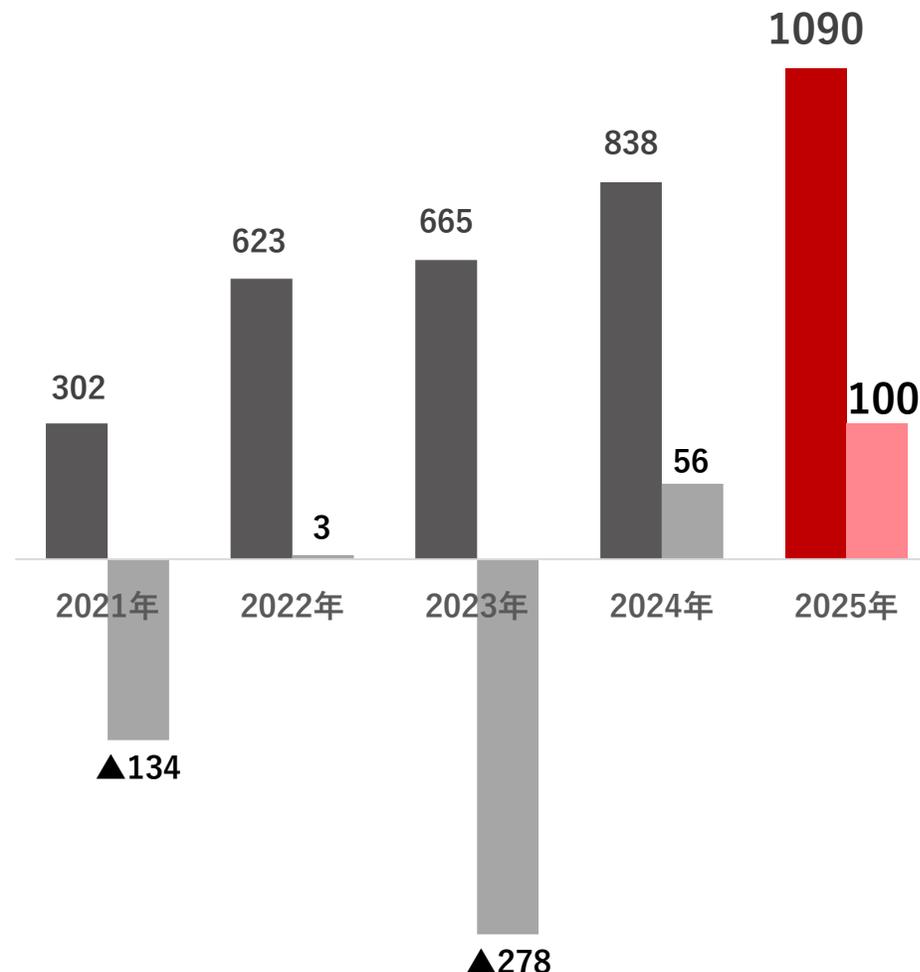
2025年9月期はフィンテック事業の継続的な成長を考慮し、売上は130%成長を見込む。更なる流通総額の拡大への資金投下や資金移動業取得に伴うコストの増加を踏まえ、営業利益はコンサバに設定

単位：百万円	2025年9月期 (2024年10月～2025年9月)	2024年9月期 (2023年10月～2024年9月)	前年比
流通総額	<b>12,000</b>	7,279	<b>164%</b>
売上	<b>1,090</b>	838	<b>130%</b>
営業利益	<b>100</b>	56	<b>179%</b>
営業利益率	<b>9.2%</b>	6.7%	<b>2.5pt</b>

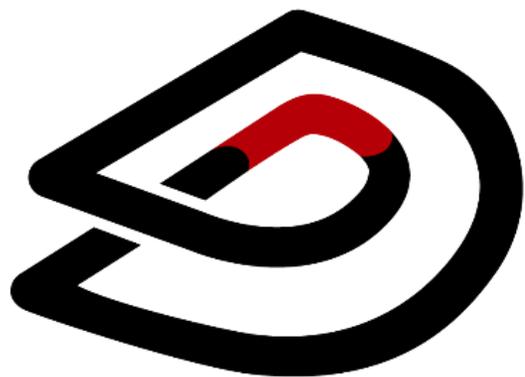
当社考察

1 資金移動業取得にかかるコストを多めに見積もり、一方取得の更なる遅延も想定し、流通総額、営業利益ともにコンサバに予測。

### 通期売上・営業利益推移



人を不幸にしないための、デジタルと



**デジタルプラス**

はじまること、出会うこと、成長すること、遊ぶこと、  
学ぶこと、挑戦すること、愛すること、  
失敗しても、またはじめられること。

前に進む人生のすべてに、

一緒にいるデジタルを提供していく。

無意識のうちに、つい、あきらめてしまっていることを、

叶えられることに変えていく。